

放課後等デイサービス・児童発達支援兼自己評価表【事業者向け】

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	運営規定を遵守し行っている。教室が広くなり運動の活動に適している。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	療育内容、利用者に合わせて適切に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	83%	17%	0%	室内はバリアフリー、入室前の階段を気を付けている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	療育の中で気づいた点などは共有し活かせるようにしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	アンケートを必ず実施して職員間で共有し改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	ホームページにて公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	0%	100%	第三者評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	66%	34%	0%	参加研修、オンライン研修に参加している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	半年に一度保護者との面談を行い計画書を作成している。今年度は電話等によるモニタリング対応をしたケースもある。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	83%	17%	0%	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	職員間で取り組みに際して意見交換などを行いながら立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	17%	0%	通所利用児童に合わせて検討したり、集団活動時には担当をローテーションして行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83%	17%	0%	長期休暇では個々の課題支援に重点を置いている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	運動療育の活動内で集団支援と個別支援を組み合わせ対応している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	支援状況や緊急対応について確認している。

⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	利用者の把握や連絡事項、療育の振り返りを行い、職員間で周知している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	個別支援記録を記録し、周知しながら療育に活かしている。内容を職員間で共有し、検証、改善に取り組んでいる。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	年2回のモニタリングを行い、ニーズの確認をしながら支援にあっている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%	0%	0%	必要とされている支援について検討、考察しながら努めている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者が対応している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	83%	17%	0%	保護者からの情報が主だが、送迎の際に子どもの様子など気になることなどもお話ししている。 トラブルや怪我、様子などの連絡は必ず行うように対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	66%	34%	主治医と話すことはないが、保護者から病気について十分に伺い、対応できるようにしている。主治医の対応児はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	50%	0%	保護者からのご希望や相談を受けて対応するケースもある。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0%	0%	100%	現状対応児はおりません。今後につきましては、必要時に対応いたします。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	83%	17%	0%	ペアレントトレーニング研修を受講していた。また、利用者が持参する検査結果等を参考にしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	0%	100%	運動療育が主であるため、実施機会は少ない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	34%	66%	0%	参加を希望している。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	送迎時や連絡帳での伝達を行いながらも、必要に応じてお話する機会を持っている。	

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	83%	17%	0%	相談時においてペアレントトレーニングの取り掛かりとなるような支援方法として行うこともある。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時、ご質問等にはわかりやすい説明を心掛けている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	相談においては、どんな内容においても優先することを心掛けながら、助言が適切となるよう努めている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	50%	50%	個々の相談が多く、ご相談に応じて情報をお伝えしている。内容や各々のお考えの違いもあり予定していない現状である。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	苦情等を受け入れやすい対応を心掛けている。今のところ苦情はないが、あった場合には迅速対応を行えるよう努める。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	83%	17%	0%	毎日のブログ、連絡帳への記載にて行っている。
	③5	個人情報に十分注意しているか	83%	17%	0%	鍵付きの書庫にて書類管理を徹底している。利用に際しては最低限としている。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	相談や質問にお答えする際には、一方的ではなく、ご理解いただいているか、また内容に際しては話しやすい環境設定を心掛けている。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17%	83%	0%	地域より依頼の合ったボランティアの受け入れを該当利用者の子承を得て行ったこともあるが、全利用者の子承を得ることが難しいこともある。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	83%	17%	0%	緊急避難に際しては、引き渡しリストを保護者に提出していただいている。感染症においては、登校許可書を提出していただいている。週1回消毒を徹底している。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	規定の年2回では全利用者の訓練とならないため、月1回の訓練を曜日ごとに実施し、利用者が該当できるよう行っている。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	県のオンライン研修に参加し、職員間で周知している。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	身体拘束を行わなければならない危険行為ケースについて契約時に説明している。お子さんの様子をお聞きし、拘束になるような事態は避けるよう周知している。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	個々に持参していただく対応を取っている。保護者からの指示を受け連携している。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	事故後必ず記入し、伝達しあっている。

毎年の振り返りに慣れることなく日々の反省を行い、職員間で共有、改善しながら今後に活かしていきます。また、年齢の幅が大きくなる利用児童に合わせた対応を大切に、常に子どもたちと共に成長していける体制を心がけ、保護者様、利用児童からの声を真摯に受け止めていくことを継続してきたいと思ひます。

2024年3月

運動遊びと療育支援 こどもプラス幕張本郷教室